＜別紙様式＞

令和５年度　岐阜県地域学校協働活動事例報告書

◆本部名等

市町村名	白川村	本部名	白川郷学園学校運営協議会３部会
活動学校名	白川村立白川郷学園		

◆組織図

白川郷学園学校運営協議会
・保護者・地域住民・保育園職員・学識経験者　など１３名

学校支援部　４名
地域活動部　５名
家庭サポート部　４名

学年コーディネーター18名

＊各部長３名が地域学校協働活動推進委員
＊各学年２名ずつ学年コーディネーター配置

◆推進員等人数

	有無	人数
地域学校協働活動推進員	○	３
コーディネーター	○	１８
学習支援員		
協働活動支援員		
協働活動サポーター		
その他ボランティア		

◆推進員等（コーディネーター）の立場・活動

白川郷学園学校運営協議会は、全委員を３部会に分け、各部に１名ずつ推進委員（部長）を置き、学校、地域、家庭にかかわる担い手育て活動を推進している。学校支援部は、村民学（授業）にかかわる講師選定や動画教材収集などを行っている。地域活動部は、あいさつ運動や地域ボランティア活動等の推進を行い、家庭サポート部は、家庭における学欲向上をめざした取組を行っている。学校運営協議会と直結した実働部のため、共通の願いに向けた地域学校協働活動が成されている。

◆活動の内容　※放課後子ども教室を実施している場合は、活動内容により区分してください。

内　容	実施	実施場所			主な内容
		授業内	授業外	地域	
①自然体験活動・地域課題解決型学習・郷土学習	○	○			郷土学習等のサポート
②地域の行事、ボランティア活動への参画	○			○	地域ボランティア推進
③学校に対する協力活動（見守り、環境整備、授業支援など）	○		○		登下校見守り活動
④学習支援活動（地域未来塾等）					
⑤家庭教育支援活動	○			○	家庭学習を親子で考える
⑥スポーツ・部活動支援					
⑦その他（　　）					

◆特色のある活動

● 7年生村民学「担い手から志を学び得る」

＜活動内容＞
各学年に２名ずつ配置されたコーディネーターは、年間を通して担任と共に村民学を進めている。７年生では、担い手（大人）と直接関わる学びを通して、自分自身の現在や将来を見つめ、夢や目標をもって生活していけることをめざしている。職業や趣味、見方、考え方など、あらゆるジャンルの担い手と対談したり、村内職場体験をしたりするなど、大人の志に直接触れる学習を進めている。

＜工夫や効果＞
・コーディネーターは、担任と念入りに打ち合わせを行い、生徒の願いや学級目標に沿った授業展開となるよう、講師の選定や職場体験リストの作成を行った。
・視野を広げた見方考え方に触れるため、村外者の講師選定も行い、リモートによる対談を実施した。
・生徒たちは、村のため、社会のためにいきいきと活動する大人の根源には、子どもの頃からの経験が大きく繋がっていることを知った。将来に向けた夢や目標をもつためにも、様々な経験や挑戦を重ねていきたいと強く感じ、日々の生活に繋げている。

担い手体験：美容院で働く生徒

◆問い合わせ先

担当課・係	白川村教育委員会事務局 社会教育係
連　絡　先	05769-5-2180